

もみの木が作る  
良質な空気環境で愛猫との  
心地よい暮らしを実現

次世代の住まい  
CASE 25  
宮城県多賀城市  
Sさんの家  
取材日/2012年3月



出窓から外を眺めるのが大好きな猫ちゃん達のために、各階に出窓を設けました。



もみの木の床と腰パネルで木の温もりが感じられるリビング。スピントフの壁もクロスと違って爪とぎなどの傷がつきにくく、ペットを飼っている家庭には特におすすめ。

Sさんご夫婦が家づくりのために利府展示場を訪れたのは昨年3月。辺りが暗くなり始めた頃、一軒だけ灯りの付いたモデルハウスがあったことで足を運んでみたのが、アヴィエスホームとの出会いでした。

「インテグランドカントリー」の雰囲気が好きにぴったりだったというご主人は、ムク材や塗り壁など自然素材の家に住みたいと思っていたとか。実はご主人はアレルギー体質。展示場を回る間にも、新建材を使ったモデルハウスでは気分が悪くなってしまっていたそうですが「もみの木の家では木の香りが心地よく、気持ちよく過ごせました」。

お二人の希望は4匹の愛猫との暮らしを考えた設計であること。トイレのスペースやキャットウォーク、外を眺められる出窓など楽しく工夫を凝らしました。そうして完成した家では冬でも裸足で過ごせる暖かさはもちろん、お客さんに「4匹も猫がいるとは思えない」といわれるもみの木とスピントフの壁の消臭効果にも大満足。猫ちゃんたちも思い思いの場所で気持ちよさそう。何よりご主人の「猫アレルギーが軽くなっていくのが一番の喜びです」。

Sさんご夫婦との出会いは震災の数日前でした。そのあとすぐ震災が起って、お住まいがセキヤクといふことだったので、安否が気になって何度もお電話して、やっと繋がったときには本当に安心しました。アレルギーのあつご主人が、木の家を決めて下さいました。それから猫ちゃんも暮らす家の打合せを重ねましたが、絶えず打合せの内容は自分たちのことではなく、外を眺めるのが好きなので出窓にして下さいなど、猫ちゃん中心でした。猫ちゃんのトイレの位置はかなり苦労がありましたね。

猫ちゃんも暮らす家の家造りは、完成後の猫ちゃん達の、のんびり、ほのぼのとした生活ぶりを見て、結果として成功したのかなと感じています。これからもSさんのご家族がずっと幸せでありますように。プレゼントで頂いたペン是我の宝物にします。

担当より一言



営業 小宮

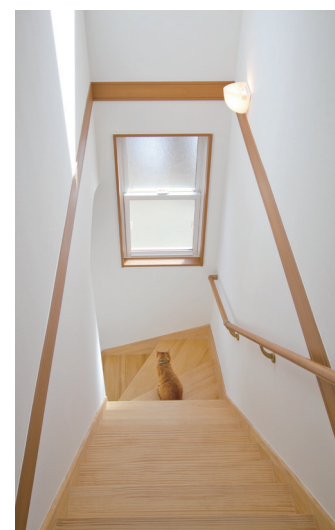
以前は、東日本大震災で津波の被害のあったセキヤクに住んでいたSさんご夫婦。「震災1週間後にスタッフの方から安否の電話があったんです。モデルハウスを一度訪れただけだった私たちを心配してくれたことがうれしくて」と奥さま。すぐに土地探しを始めて家づくりに取り掛かり、10月の奥さまのお誕生日でもあり、二人の結婚記念日に入居の運びとなりました。



吹上天井にしたことで、2m80cmの天井高を実現し、梁が印象的なインテリアになりました。高い所が大好きな猫ちゃんのためにキャットウォークを設置。



多頭飼いの悩みはトイレ。リビング脇の階段下の1坪のスペースを使って4匹の愛猫専用のトイレ部屋を設けました。廊下側には格子の引き戸を、リビング側には猫窓を付けて出入りをスムーズに。



階段を上った正面の壁には、小物などを飾るのにぴったりなニッチ棚を設置。ご主人が集めたミニカーがずらりと並びます

リビング階段は吹き抜けにして窓を2か所に付けました。自然光の明るさと暖かさをふんだんに取り入れる工夫を随所に。猫ちゃんも満足(!?)



CASE25:宮城県多賀城市 Sさんのお宅

家族構成:夫・妻  
延べ床面積:30坪 部屋:5LDK  
こだわり設備:もみの木の床 省エネ&健康塗壁



2Fの子供部屋は、将来を考え間に仕切りを入れて2部屋にできる設計。



子供部屋の上に小屋裏収納を設けました。実はここも猫ちゃんお気に入りのスペース。



キッチンコンロはラジエントヒーター。お湯を沸かすと遠赤外線効果で水がおいしくなります。「コーヒーもおいしく入れられるし、湯冷ましにすると猫もゴクゴク飲んでくれます」と奥さま。

